

令和3年度 新潟県立阿賀黎明高等学校 第1回 学校運営協議会 議事録

1 日時

令和3年5月17日(月) 10時00分～12時00分

2 会場

新潟県立阿賀黎明高等学校 多目的ホール

3 参加者

委員7人(欠席者なし)

県教育委員会2人

(オブザーバー参加)

- ・阿賀黎明高校魅力化プロジェクト関係者5人
- ・阿賀黎明探究パートナーズ関係者1人
- ・阿賀黎明高等学校教職員6人

計21人



(参加者氏名等一覧)

(1) 学校運営協議会委員

氏名	所属・役職など	所属部会など
清野 一男	前阿賀町教育委員会教育長	会長、評価部会
遠藤 佐	阿賀町教育委員会教育長	副会長、評価部会
稲生 一徳	阿賀町立阿賀津川中学校長	評価部会
齋藤 俊太郎	麒麟山酒造株式会社 代表取締役社長	地域協働部会
猪俣 一成	株式会社巴山組 専務取締役	地域協働部会
石川 英理香	新潟県立阿賀黎明高等学校PTA会長	評価部会
平山 剛	新潟県立阿賀黎明高等学校長	地域協働部会

(2) 県教育委員会

氏名	所属・役職など
佐藤 貴亮	高等学校教育課企画振興係 指導主事
齋藤 達也	高等学校教育課企画振興係 指導主事

(3) 阿賀黎明高校魅力化プロジェクト

氏名	所属・役職など
大江 健一	阿賀町教育委員会 学校教育課 課長補佐
西田 卓司	阿賀町教育委員会 学校教育課 黎明学舎 塾長
及川 真央	阿賀町教育委員会 学校教育課 黎明学舎 スタッフ

波多野 彩佳	阿賀町教育委員会 学校教育課 黎明学舎 スタッフ
坂 井 千 晃	阿賀町教育委員会 学校教育課 黎明学舎 スタッフ

(4) 阿賀黎明探究パートナーズ

役 職	氏 名	所 属 ・ 役 職 など
理 事	清 野 眞 也	阿賀まちづくり株式会社 代表取締役

(5) 阿賀黎明高等学校教職員

職 名	氏 名	備 考
教 頭	本 保 正 佳	学校運営協議会事務局長
教 諭	伊藤 美恵子	地域連携推進教員、家庭科
教 諭	荒 井 一 樹	教務主任、商業科
教 諭	松 永 昌 範	生徒指導主事、数学科
教 諭	西 川 高 司	芸術科（音楽）
教 諭	松本 由美子	2 学年主任、保健体育科

4 次第及び発言の概要

(1) 開会

校長挨拶（平山校長）

- 本年度も、本校の教育活動及び生徒募集の取組にご支援を賜りたい。
- 本日は県教育委員会高等学校教育課の担当の方から、本協議会に対する指導助言を賜るとともに、本年度から国の採択を受け、新潟県が実施する新規事業についてご説明いただく。
- 本年度も、阿賀町教育委員会からの支援による「地域みらい留学フェスタ」へ参加し、オンラインで全国の中学生と保護者に向けた学校や地域を紹介する取組を行う。
- 阿賀町教育委員会の皆様、並びに阿賀黎明探究パートナーズの皆様から、授業をはじめとした本校の様々な教育活動にご支援をいただく。
- 本年度から、1 学級募集となり、町外並びに県外から新入生が入学した。これまでのところ、新しい環境に適応しながら、順調に生活している。安定した生徒数確保のための取組を行いながら、学校の魅力化を一層進め、地域はもとより、県内外からも選ばれる学校とするために、本年度もより一層のご支援を賜りたい。

(2) 教育活動における連携（阿賀黎明探究パートナーズについて）（西田塾長）

- 令和 2 年度に阿賀黎明高等学校のコミュニティ・スクール指定に合わせて設立された任意団体。
- 教育活動に講師およびコーディネーターとして伴走し、令和 3 年度も次の授業及び活動の支援を行う。
 - ①「地域学」（2 年）のプロジェクト活動支援（週 2 時間）
 - ②「阿賀町さいこうプロジェクト（総合的な探究の時間）」（1 年）の「トークフォークダン

ス」(2h×年1回)および「あがまちゼミ」(2h×年4回)

③ 「職業人インタビュー」「職場体験」(2年)

(3) 生徒募集における連携(令和4年度入学生募集に向けた活動について)(西田塾長)

- 令和3年度入学生は20名。うち町内10名、町外10名(うち、入寮生は9名)。
- 「地域みらい留学」(全国70校が合同でオンライン説明)経由で県外から5名が入学。
- 本年度も「地域みらい留学オンライン合同説明会」を開催し、ビデオ会議システム ZOOM を利用した生徒募集に引き続き注力するとともに、町内および県内中学生にも「学校見学&まなび体験会」を周知し、参加してもらう。

(4) 「COREハイスクール・ネットワーク構想」について(県教育委員会)

- 令和3年度から令和5年度までの3年間、県教育委員会が文部科学省から委託され、佐渡島内に存在する所在する5つの県立学校、阿賀町に所在する阿賀黎明高等学校、そして新潟市内にある新潟翠江高等学校の合計7校でネットワーク化して文部科学省の狙いに即した事業「COREハイスクール・ネットワーク構想」を展開していく。
- この事業は、中山間地域や離島等に立地する高等学校・中等教育学校における教育環境の改善を図ることを目的に、ICTを活用した遠隔授業や、学校間連携、地元自治体等と連携した教育活動に関する調査研究を実施するもの。
- 阿賀黎明高校における具体的な取組
 - ①新潟翠江高校が中心となり、多様な教科・科目をネットワーク校に配信することで、多様な科目の開設や習熟度別指導を可能とする。
 - ②各学校で取り組んできた様々な教育活動を、可能な限りネットワーク構成校で連携して取り組むことで、教育効果を高める。
 - ③佐渡と阿賀町で、地元企業や団体、大学等の専門機関などと連携したコンソーシアム(共同体)の構築を行う。コンソーシアムの人的支援等の協力を得ながら、地域の魅力や課題について学び、課題研究活動を充実させていく。
- 活動が制約される小規模校であってもネットワークを結ぶことで魅力ある教育活動が展開できることが、この事業の最大のポイントとなるため、県教育委員会としても支援していく。

(5) 質疑応答

(清野 会長)

- 「COREハイスクール・ネットワーク構想」は、正式に認可されたのか。

(齋藤指導主事)

- 認可された。しかし、まだ実務的なところで、文部科学省との間で委託契約を結んでいない。5月末ごろには、県と文部科学省との間で契約が結ばれる予定。

(清野 会長)

- 具体的な計画、予算額はどうなっているのか。

(齋藤指導主事)

- 今年度の計画は提出済み。

5 月	遠隔事業の配信センターの設置。県庁内の関係部署と情報共有を行い、庁内でどのような支援ができるか検討する。
5 月末～6 月上旬	ネットワーク校の生徒による顔合わせ会（キックオフイベント）を実施する。
6 月	遠隔授業の指導助言を行う最高情報責任者（CIO）が県庁内に設置される。遠隔授業の実施にあたり、段階的に教職員を対象とした研修会を行う。
10 月	ネットワーク校に必要な機器を配備する。
10 月以降	試行的に授業配信を行っていく。阿賀黎明高校では1 科目の授業配信を行う。

- 予算について3 年間で1400 万円。1400 万円のうち1000 万円が遠隔授業の機器に充てられている。400 万円は、地域協働の部分での会議や旅費、謝金の支払い、生徒の活動に必要なものの準備に使われる。

(猪俣 委員)

- 3 年間の事業の中で学校が増えることはあるのか。
- 今年の秋まで遠隔の授業はないのか。
- 羽茂高校との共同の交流検討との説明があったが、「総合的な探究の時間」でやるのか。それとも「地域学」の中でやるのか。

(齋藤指導主事)

- 学校の数、基本的には7 校で固まっているが、ネットワーク校以外の学校と遠隔システムを使って交流するのは可能である。
- 機器を一括購入する入札等の手続き等もあり、最短で秋ごろの実施となる。
- 基本的には、「総合的な探究の時間」での交流が考えられる。しかし、羽茂高校の学校設定科目と「地域学」との科目間連携は今後検討していく必要がある。

(齋藤 委員)

- 阿賀黎明探究パートナーズと学校とが、どのような授業をやっていくかについて検討してきたが、ここに県が関わるのか。

(齋藤指導主事)

- 基本的には取組について協力していくことになる。
- 個人的には、活動について伺いながら、県としても支援したいと考えている。これまでの取組を十分に尊重しながら進めていきたい。

(佐藤貴亮 指導主事)

- ふるさとについて多くを語れる生徒を育てるのが大事でないかと思っている。このことが結果として町を魅力的にし、町の人口増加につながるのではないかと考えている。探究活動においては、こういった視点を持って取り組んでもらいたいと考えている。

(6) 次回開催日時

9 月開催予定。後日、調整する。

(7) 閉会

遠藤副会長の挨拶

- 阿賀黎明高校の魅力化について取り組んできたが、次の段階に進んでいく必要がある。
- 町としても阿賀黎明高校の取組を周知していきたい。
- 町内の子供たちに、これまで以上に阿賀黎明高校の魅力を伝えていく必要があると考えている。

阿賀黎明探究パートナーズについて

【設立時期・経緯】

令和 2 年度の阿賀黎明高等学校のコミュニティスクール指定に合わせて設立された任意団体（令和 2 年 4 月発足。会長：齋藤俊太郎、事務局：黎明学舎）

【目的】

阿賀黎明高校の地域と連携した授業「地域学（プロジェクト活動）」「阿賀町さいこうプロジェクト（総合的な探究の時間）」に講師・コーディネーターとしての参加・参画することによる阿賀黎明高校の魅力向上。

【活動】

具体的には、以下の活動に講師およびコーディネーターとして伴走する。

- ・「地域学」（2 年）のプロジェクト活動支援（週 2 時間・隔週）
- ・「阿賀町さいこうプロジェクト（総合的な探究の時間）」（1 年）
の「トークフォークダンス」（2 h × 年 2 回）および「あがまちゼミ」（2 h × 年 4 回）
- ・「職業人インタビュー」「職場体験」（2 年）

【令和 3 年度の動き】

- 4 月 22 日（木）「地域学」コーディネーター向け研修会（第 1 回）
- 5 月 17 日（火）学校運営協議会
- 5 月 26 日（水）「地域学」コーディネーター向け研修会（第 2 回）
- 6 月 1 日（火）「地域学」（2 年）にてプロジェクト紹介
- 6 月 22 日（火）「地域学」（2 年）にてプロジェクト実施
- 7 月 4 日（火）「地域学」（2 年）にてプロジェクト実施

※「阿賀町さいこうプロジェクト」（総合的な探究の時間）、職業人インタビュー、職場体験については現在調整中です。

令和4年度入学生募集に向けた活動について

阿賀黎明高校魅力化プロジェクト

「黎明学舎」 西田卓司

1 現状確認

- ・令和3年度入学生は20名。うち町内10名、町外10名（うち「緑泉寮」入寮は9名）。
- ・「地域みらい留学」（全国70校が合同でオンライン説明）経由で県外から5名が入学。

2 令和4年度入学生募集の方針

- ・「地域みらい留学」経由の生徒募集に引き続き注力する。
- ・町内および県内中学生にも「学校見学&まなび体験会」を周知し、参加してもらう。
- ・阿賀津川中、三川中には総合学習等など接点を増やしていく。

3 令和4年度入学生募集に向けた活動

【学校見学&まなび体験会（現地開催）】

- ① 5月29日（土） ② 7月3日（土） ③ 7月23日（金）
④ 8月21日（土） ⑤ 10月9日（土）

内容：各日13時～17時

学校および黎明学舎見学、寮見学、在校生とのまちあるきワークショップ

在校生による体験企画、在校生によるプレゼンテーション

【「地域みらい留学」オンライン合同説明会】

- ① 6月5日～6日 ② 7月3日～4日 ③ 7月31日～8月1日
④ 8月28日～8月29日 ⑤ 10月2日は対面で開催@東京（予定）

内容：ビデオ会議システム ZOOM を利用

1日につき2回の4校合同説明会(5分間プレゼン+20分間の質疑応答)

1日につき2回の学校別説明会(45分間)

その他、オンラインイベント、SNS等を活用した募集を行う。

【町内・県内向けアプローチ】

- ・町内・県内の中学生に対しても「学校見学・まなび体験会」参加に向け呼び掛ける。
- ・町内中学校に対しては、「総合的な学習の時間」等の企画・運営支援を行うと共に、イベント等のお知らせを集会などで告知する。
- ・ニュースレターを発行し、町内・近隣市町村に配布・掲示する。

COREハイスクール・ネットワーク構想

令和3年度予算額（案） 2.1億円（新規）



地域社会に根ざした高等学校の学校間連携・協働ネットワークの構築：COllaborative REgional High-school Network

背景 ・ 課題

- **中山間地域や離島等に立地する小規模高等学校**においては、地域唯一の高等学校として、大学進学から就職までの**多様な進路**希望に応じた**教育・支援を行うことが必要**であるが、教職員数が限定的であり、生徒のニーズに応じた**多様な科目開設や習熟度別指導が困難**。
 - **複数の高等学校の教育課程の共通化やICT機器の最大限の活用**により、中山間地域や離島等の高等学校においても**生徒の多様な進路実現に向けた教育・支援**を可能とする高等学校教育を実現し、**持続的な地方創生の核としての機能強化**を図る。

事業内容：中山間地域や離島等に立地する小規模高等学校の教育環境改善のためのネットワークの構築

①同時双方向型の遠隔授業などICTも活用した連携・協働

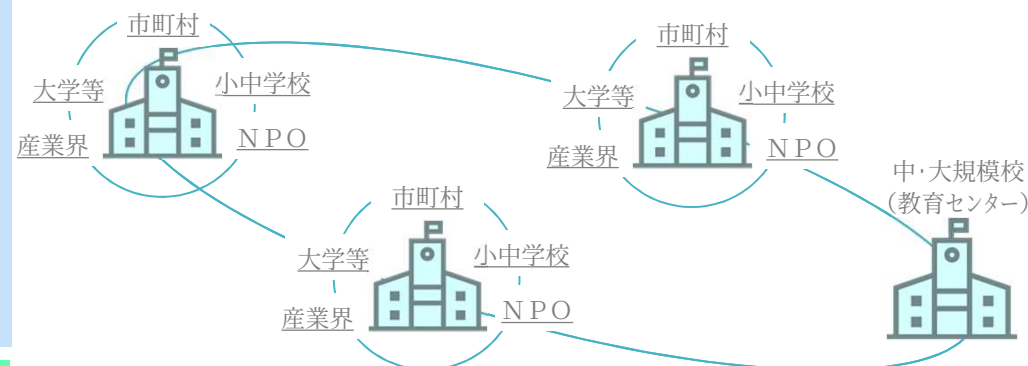
- ⇒自校では受けることのできない授業の受講を可能化
- ⇒免許外教科担任制度の利用解消
- ◆文部科学省が実施教科や形態に応じた複数の研究テーマを設定し実施

②地元自治体等の関係機関と連携・協働する体制の構築

- ⇒学校外の教育資源を活用した教育の高度化・多様化
- ⇒地域を深く理解しコミュニティを支える人材の育成

【事業の検証のための調査研究】

全国展開に向けて、各ネットワークにおける成果・課題を抽出・分析する実証研究を実施



※中・大規模校（教育センター）から複数の高等学校に対する「集中配信方式」の実施も推奨

生徒の多様なニーズに応じた質の高い教育実現する高等学校ネットワークのモデルを構築

対象校種	国公立の高等学校・中等教育学校	委託先	学校設置者
箇所数 単価（期間）	13箇所 1,400万円程度/箇所（原則3年）	委託対象経費	遠隔授業の開発・実施に必要な経費 （人件費、設備備品費、委員旅費、謝金等）

新潟の未来をS a G a S uプロジェクト

目的

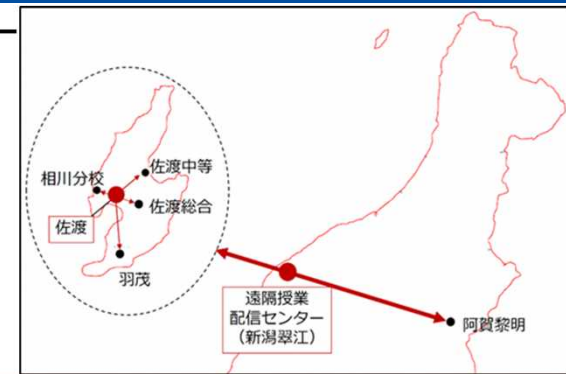
- Sado(佐渡)とAga(阿賀)とSuikou(新潟翠江)のネットワーク7校の取組で、新潟の高校教育の未来を拓く**
- 遠隔授業をととして、生徒のニーズに応じた多様な教科・科目の開設を行い、離島・中山間地域の教育環境の充実に図る。
 - 佐渡市、阿賀町両自治体が推進するキャリア教育を基盤として、地域と一体となって有為な地域人材を育成する。

現状

- 本県の人口減少と少子化の急速な進行
 - ・ 若者を中心として社会減少数が全国平均以上
 - ・ 都市部と離島・中山間地域との間の人口偏在（医師の地域偏在を表す指標で全国最下位）
 - ・ 佐渡市・阿賀町の中卒者数は20年前に比べ約半減
- 通学範囲の広さと通学手段の不便さ
 - ・ 離島である佐渡市は、東京23区の約1.4倍の面積に県立高等学校等が5校点在
 - ・ 福島県境にある阿賀町は、県内有数の豪雪地域で、町に唯一ある高等学校以外への通学には30km以上の距離
- 県立高等学校等の小規模化の進行
 - ・ 本県の日全日制及び定時制課程県立高等学校・中等教育学校89校のうち47%が1～3学級（令和3年度募集）

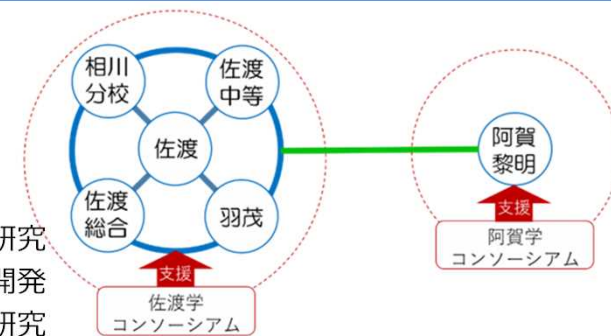
1. 遠隔事業に関する取組の概要

- **新潟市内に立地する新潟翠江高等学校に遠隔授業配信センターを設置し、授業及び補習等を配信**
 - 理科、地理歴史・公民、芸術等の専門教員による授業
 - 国語、数学、英語の習熟度別に対応した授業
 - 大学進学や検定対策など、生徒のニーズに応じた各種補習
- **新潟の魅力や最先端技術を踏まえた授業配信**
 - 本県の地形的・地質的特徴を学ぶ「地学基礎」を教育課程で共通化
 - V Rや専門人材の活用を踏まえた「福祉」科目の授業



2. 地元自治体等の関係機関と連携・協働する体制の構築に関する取組の概要

- **佐渡学コンソーシアムと阿賀学コンソーシアムの構築**
 - 共通理念は、生徒を「主語」に、大人も「ワクワク」
 - 地域資源の活用や、SDGsを踏まえた「探究的な学び」の充実
- **コンソーシアム内外の学校間連携の推進**
 - 佐渡島内5校による、佐渡の魅力の情報発信
 - 異なった環境に立地する「地域探究コース」同士の交流、共同研究
例：佐渡・阿賀の魅力を知る観光周遊ルートや体験型メニュー開発
：離島・中山間地域が自給できるクリーンエネルギーの調査研究



3. ネットワークを構成する学校

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| ○新潟県立佐渡高等学校(全日制、普通科) | ○新潟県立佐渡中等教育学校(普通科) |
| ○新潟県立佐渡高等学校相川分校(定時制、普通科) | ○新潟県立阿賀黎明高等学校(全日制、普通科) |
| ○新潟県立羽茂高等学校(全日制、普通科) | ○新潟県立新潟翠江高等学校 |
| ○新潟県立佐渡総合高等学校(全日制、総合学科) | (定時制・通信制、普通科) |

年度別中学校別入学者数（過去5年間）

中学校名	R03	R02	H31	H30	H29
新潟県立阿賀黎明		4	5	13	18
阿賀町立阿賀津川	10	16	30	12	27
阿賀町立三川			1	1	1
五泉市立五泉			2	1	
五泉市立川東				2	2
五泉市立村松桜	1		1		
新潟市立大江山中学校	1				
新潟市立新潟柳都中学校	1				
田上町立田上中学校	1				
長岡市立西					1
妙高市立妙高中学校	1				
新潟大学附属新潟		1			1
南相馬市立原町第一中学校	1				
滑川町立滑川中学校	1				
所沢市立上山口中学校	1				
川崎市立菅生中学校	1				
横浜市立中和田中学校	1				
合計	20	21	39	29	50

年度別卒業生進路状況

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		人数 (人)	割合	人数 (人)	割合	人数 (人)	割合	人数 (人)	割合	人数 (人)	割合
大学等	国公立大学	2	3.6%	2	3.6%	1	2.0%	1	2.3%	3	13.0%
	私立大学	10	17.9%	16	29.0%	12	24.0%	5	11.6%	3	13.0%
	国公立短期大学	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	私立短期大学	3	5.4%	0	0.0%	5	10.0%	3	7.0%	3	13.0%
専修学校等	専修学校（専門課程）	23	41.1%	15	27.2%	14	28.0%	14	32.5%	8	34.8%
	専修学校（一般課程）	2	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%
	各種学校	1	1.8%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就職	民間企業	14	25.0%	17	30.9%	18	36.0%	16	37.2%	6	26.1%
	公務員	1	1.8%	1	1.8%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%
その他	未定	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	3	5.5%	0	0.0%	2	4.7%	0	0.0%
合計（卒業生）		56	100.0%	55	100.0%	50	100.0%	43	100.0%	23	100.0%

